

卒前から生涯学習に亘る総合診療能力開発 -地域における臨床研究の推進を目指して-

本学では、プライマリケア現場で活躍するclinician researcherを育成するため、全学的なシステム開発・整備を行ってきました。大学と地域との連携を深め、今後も地域医療のための人材養成拠点として一翼を担えるよう、本事業の成果報告会を開催いたします。

全国の医学部、教育施設、医学教育・総合診療に係る皆様のご参加をお願い申し上げます。

平成30年1月18日(木) 18時00分～20時15分
東京慈恵会医科大学・2号館講堂(1階)

総合司会：松島雅人 (臨床疫学研究部 教授)

18:00 はじめに

栗原敏 理事長

18:05 事業概要

大野岩男 (総合診療内科 教授)

18:20 「家庭医療ブラッシュアッププログラム」

①総合診療医のContinuing Professional Development
その理論基盤

藤沼康樹 (生協浮間診療所/医療福祉生協連家庭医療学開発センター (CFMD)
千葉大学大学院看護学研究科専門職連携教育研究センター)

18:50 ②プログラム内容と成果について

発表：関正康 (総合診療内科 助教)

コメンテーター：常喜達裕 (総合診療内科 准教授)

19:05 「地域医療プライマリケア医学」

吉田秀平 (東京ほくと医療生活協同組合 北足立生協診療所)

金子惇 (北多摩中央医療生活協同組合 むさし小金井診療所)

19:45 全体討議

コメンテーター：

丸山泉 (日本プライマリ・ケア連合学会 理事長)

大野岩男 (総合診療内科 教授)

根本昌実 (葛飾医療センター 総合内科 教授)

平本淳 (第三病院 総合診療部 准教授)

三浦靖彦 (柏病院 総合診療部 准教授)

20:00 総括

松藤千弥 学長

20:15 閉会